

寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	「自分ごと化会議 in 松江」実行委員会
テーマ名	フリーテーマ
事業名	自分ごと化会議 in 松江
事業費(うち助成金額)	988,744 円 (584,600 円)
ネーミングライツ(該当があれば)	※NPO活動推進室記載箇所



■事業目的 (250文字程度)

松江市の地域の課題について、誰もが自由に安心して話し合える「場」をつくります。市民全体から無作為抽出した人に集ってもらい、「普通の市民」がその時のテーマについて専門家などの話も聴きながら議論します。そして一人ひとりがテーマについて「自分ごと」を進めます。それらを通し、様々な社会問題を自ら考え、行動できる市民を増やしていくことが目的です。また、話し合った内容は提案書にまとめ、行政や関係団体、そして市民自身に向けて発言し、松江市が抱える問題を市民発想で解決できるよう努力します。

■事業内容 (350字程度)

今回(第4期)のテーマは「島根県は不登校が多い!子どもファーストな学校とは?」で、2025年10月から2026年2月まで5回にわたって話し合いました。松江市の有権者から無作為抽出した約2000人へ案内状を送付し、その中で希望された方24人と、プラス島根大学の学生6人が講に参加しました。さらに「子どもオブザーバー」として延べ13人の中高生に参加してもらいました。会議では専門家などからの言提供を受け、参加者が中立のコーディネーターのもと、毎回全くシナリオ無しで自由に議論し、その結果を「市民からの提案書」としてまとめました。市民報告会を開催し約30名の参加者に報告しました。また、松江市教育委員会や島根県にも提案書を手渡し、意見交換をすることができました。今後、学校や行政、関係団体に手渡す予定です。

■事業成果と今後の展望 (450字程度)

多くの参加者から、5回の話し合いがとても楽しかったという感想が出されました。学校教育に出て、一人ひとりが全く違う見方や意見を持っていることが分かり、あらためて参加者は今回のテーマを自分ごと化しました。そして、「子どもが自分らしく居られる学校を社会全体でつくる」をポイントに4つの改善提案をまとめました。提案には、不登校の理由は本当にさまざまな確かな「分析と対策」が必要という考えのもと、改善の基本方向とそれぞれの具体的な方策を示しており、不登校の子どもへ介護保険のケアマネージャーに相当するような専門的間接役(マネージャー)を設置することや、AIを使った相談窓口など、従来にはあまりなかった提案も。「子どもオブザーバー」から学校の現状や自分たちが日々感じていることからの提案でもあります。

この提案書が、学校教育や子どもを取り巻く環境の改善に少しでも役立つことを願っています。また、今回の取り組みをきっかけに、地域のいろいろな課題を「自分ごと」する市民が増えることを期待しています。